マーシャル共和国での取り組み



17年度1次隊マーシャル派遣 小学校教諭 野原 俊之

派遣国の概要

- 霞ヶ浦・ ネックレス
- 最高峰 東京ドーム
- 夏夏夏夏 あめだま
- エンマン ・ 指計算機







派遣内容



- 現地教員の指導力向上
- 教員向け研修会の実施
- モデル授業の企画・実施



- 児童の基礎学力向上
- 教材の開発
- 現地教員への働きかけ



日々の授業

- ルールを大切にする
- ・ 指導内容の吟味
- T・Tの活用

課外活動

- 補修クラス
- サマースクール







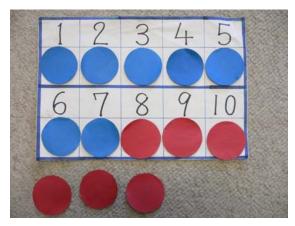
教材作成

ワークシート

- 現地語の説明
- 段階的な内容

補助教材

- 分かりやすく
- 使いやすく
- 算数セットの活用







現地教員への取り組み

ワークショップ オープンクラス

- 二一ズに応える
- 継続性
- 日々の授業に直結





1 8 6 1 3 6 5 1 6 2 3 8 0 3 0 9 6	3 6 3 6 X 6 1 3 5 1 6 2 5 3	
73 ×25 365 1460 1,825	73 73 X 5 X 2 3 6 5 1 4 6	



派遣前には

- 情報収集を密に
- 得意分野を再確認
- 言語や生活は気付くと慣れています
- 日本文化の「ねた」
- ネットワーク作り



派遣中→帰国後

- リアルタイムの情報発信
- 記録の蓄積
- データの共有
- 後任との連携
- 自分自身を磨くチャンス
- 活動報告の準備



活動をふりかえって

- 長くて短い1年9ヶ月
- 派手さを求めず、日頃の積み重ねを大切に
- 日本人 → ノハラ
- 種をまく気持ち